

物流情報システム開発のフルバック（藤牧正浩社長、三重県四日市市）は10日、大阪で物流企業の経営者向けセミナー「運送会社の業績アップ具体策50連発」を開催。中田商事（同伊賀市）の中田純一社長が「時間給制への移行」をテーマに講

フルバックの経営者向けセミナー

## 時間給制への移行 メリットなど説明

「業績アップ具体策50連発」

演じた。

中田社長は、平成22年から従業員の給与を従来の歩合給から時間給制に変更。その理由として、コンプライアンス重視の社会風潮や改正労基法、労働紛争のリスク増加、就業人口の減少、中型免許制度など外的環境の変化を挙げた。時間給制のメリットとして、「改正労基法が順守できる」「ドライバーが有給休暇を取れる」「1車1人制からローテーション制に移行することで1台あたりの売り上げが上がり残業も減る」「シルバー世代や女性を採用しやすくなる」などと説明。労働時間短縮による給与額の減少に対しては、人事考課制度によるスキルアップ（高時給）の促進で対応するとした。

引き続き、フルバックの藤牧社長が「物流ITならクラウドが一番でしょー」をテーマに、中小物流企業が取り組むべきクラウド



サービスについて説明。クラウドを業務改革に生かすことで、方針や通達などの周知徹底が図れ、経営者、管理者、現場の相互理解が深まり社内コミュニケーションが向上するとした。また、情報の一元化、体系化、共有化により時間短縮や意思決定に大きく貢献し、業績アップにつながる」と解説。「クラウド技術によって仕事の仕方や考え方も変わっていく。新しい価値、費用対効果で測れない価値を創造していきなさい」と述べた。

さらに、船井総研の廣田幹浩氏による講演や質疑応答が行われた。

（中野秀一）  
（レイアウト・北村智子）